

アストリア

オルタナティブ投資戦略フォーラム-2012 同時通訳付き

「クレジット市場投資・ガバナンスコントロールと 株式投資、新興市場への投資アクセス」を学ぶ

+ 特別講演x2 「責任投資とガバナンスの歴史的背景」ロベコ、
「株式市場の活性化に向けた東証の取組み」東京証券取引所

日時：2012年1月24日(火) 開演 9:00 (受付8:30) 会場：学士会館 (2階)

	メインイベント (下記プログラムは予告なく変更することがございます)	分科会 グループセッション
8:30	受付開始	3階(301/306/307/311会場)
9:00	開会挨拶	
9:10	特別講演 「責任投資とコーポレートガバナンス-必然性とその歴史的背景」 ロベコ ユルーン・ファン・ビルゲンバーク氏	以下の分科会では最大15名の参加者 (年金+機関投資家)を招き、グループイ ンタビュー形式で、個別のファンドマネ ジャーからビジネス・プレゼンテーション をお聞き頂きます。
9:40	基調講演 「米国経済動向とクレジットマーケットについて」 ミュージニッチ&カンパニー ジャスティン・ミュージニッチ氏	
10:10	基調講演 「非相関なリターンと流動性のある社債市場の投資機会」 DCI ティム・カスタ氏	
10:40	コーヒーブレイク	
11:10	パネル① クレジット投資(ロング/ヘッジ)運用戦略 「クレジット投資とは、投 資家が注目するクレジット投資動向とは」 ミュージニッチ&カンパニー ジャスティン・ミュージニッチ氏、DCI ティム・カスタ氏、 上田 惇氏 住友信託銀行(ロンドン) (司会)	マネジャーインタビュー① プロスペリティ/エベレスト
12:10	ネットワーキングランチ	
13:10	特別講演 「株式市場の活性化に向けた東証の取組み」 東京証券取引所 常務取締役 深山浩永 氏	
13:40	パネル② プライベート・エクイティ投資運用戦略 「PE投資とガバナンス」 グリーンパーク・キャピタル マシュー・アーキンストール氏、ヴェンキャップ ティム・ク ルッテンデン氏、ブライトラストPEジャパン 竹内丈二氏 (司会)	マネジャーインタビュー② DCI/エベレスト
14:30	パネル③ 国内株投資ヘッジ運用戦略 「フレンドリー・アクティビスト投資と ガバナンス」 AIMAジャパン 白木信一郎氏(MAI)、あすかコーポレートアドバイザー 中神康議 氏、野村総合研究所 堀江貞之氏(司会)	マネジャーインタビュー③ ミュージニッチ/グレーター・パシフィック
15:20	コーヒーブレイク	
15:50	パネル④ 新興市場へのアクセス(上場株/ヘッジ運用/PE) 「エマージング市場の取り組みについて考える」 プロスペリティ・キャピタル トーマス・オルセン氏 (ロシア・ロングオンリー) エベレスト・キャピタル マシュー・ヴァーマーチ 氏 (エマージングHF) グレーター・パシフィック・キャピタル キタン・パテル氏 (インド・中国:上場株/PE) 年金積立金管理運用(独) 清水時彦 氏(司会)	マネジャーインタビュー④ ミュージニッチ/DCI
17:10	パネル⑤ 機関投資家パネル 「オルタナティブ投資戦略の展望」 住友信託銀行 増田 徹氏、ニッセイアセット 大西かおる氏、損保ジャパン日本興 亜アセット 小此木 統呉氏、東京海上アセットマネジメント 高田創一氏、セイリュ ウアセットマネジメント 吉田琢磨氏	マネジャーインタビュー⑤ プロスペリティ/グレーター・パシフィック
18:00	懇親会	
19:00	招待制の会食(協賛スピーチ20分) グロービス・キャピタル・パートナーズ	

プレミアム協賛

共同協賛



GLOBIS CAPITAL PARTNERS



PROSPERITY CAPITAL MANAGEMENT



後援



一般社団法人
日本プライベート・エクイティ協会

主催



アストリア オルタナティブ投資戦略フォーラム-2012

8:30 受付開始

9:00 開会挨拶

9:10 特別講演

「責任投資とコーポレートガバナンス/必然性とその歴史的背景」



ユルーン・ファン・ビルゲンバーグ氏
Jeroen van Wilgenburg
マネジングディレクター
ロベコ・ジャパン・コリア

ファン・ウィルゲンバーグ氏はロベコ・インスティテューショナル・アセット・マネジメント副社長兼日本/韓国担当マネージング・ディレクターである。同氏は2005年にロベコへ入社し欧州担当企業開発兼顧客サービスマネージャーとしてオランダ及びイタリアを担当していた。その後2007年にロベコ日本支店へ企業開発兼顧客サービスディレクターとして入社。以来4年間同社のアジア担当ディレクターとして日本/韓国に駐在している。ロベコ入社前は企業デリバティブブローカーとして様々な欧州商品を扱っていた。

9:40 基調講演

「米国経済動向とクレジットマーケットについて」



ジャスティン・ミュージズニッチ氏
Justin Muzinich
副会長
ミュージズニッチ &カンパニー

ハーバード大学を成績最優秀者として卒業、イェール大学法律大学院 (JD)、ハーバード大学ビジネススクール (MBA) 最優秀成績者、ロンドン大学政治経済修士。モルガンスタンレー企業買収部門、SAC社 (ヘッジファンド)を経て、現在、ミュージズニッチ副会長として新規ビジネス開拓の責任者を勤める。

10:10 基調講演

「非相関なリターンと流動性のある社債市場の投資機会」



ティム・カスタ氏 Tim Kasta
プロダクト開発担当ディレクター
DCI

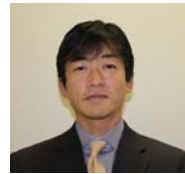
2004年のDCI創業以前、Tim Kasta はKMV社の創業マネージングディレクターの一員として同社のマーケティング戦略を構築し、旗艦運用戦略であるクレジット・エッジおよびクレジット・エッジ・プラスの開発に尽力しました。KMV入社に先立ち、KMVの運用戦略への最初期の投資家の一つであるバンク・オブ・モンテリオールにおいてコーポレートと信託ポートフォリオのアクティブ分散のためのKMVの分析ツールに基づいたクオンツ戦略及びシステム開発に携わりました。米国公認証券アナリスト(CFA)。ウェスタン・オンタリオ大学(カナダ)のリチャード・アイヴィ経営大学院でIvey HBA(アイヴィ経営学修士)修得。

10:40 コーヒーブレイク

11:10 パネル① クレジット投資(ロング・ヘッジ)運用戦略

「クレジット投資とは、投資家が注目するクレジット投資動向とは」

- ジャスティン・ミュージズニッチ氏 ミュージズニッチ &カンパニー
- ティム・カスタ氏 DCI
- 上田 惇氏 住友信託銀行ロンドン支店 (司会)



上田 惇氏(司会) Atsushi Ueda
住友信託銀行
ロンドン支店副支店長

1988年神戸大学経営学部卒業、住友信託銀行(株)に入行。横浜支店にて個人受信業務担当の後、1990年ニューヨーク支店トレイニー派遣にて海外不動産融資業務に従事。1992年ニューヨーク大学スターンスクールオブビジネスへ留学しMBA取得。1994年市場金融部にてデリバティブ商品開発・営業を担当、2000年より資産金融部にて証券化商品の開発に従事、2002年ホールセール企画部へ異動し、海外クレジット資産を対象とした投資プログラムの開発・投資を担当。2006年クレジット投資業務部、2007年投資金融部にて同業務を継続して担当し、2010年ロンドン支店へ異動、現職に至る。

12:10 ネットワーキングランチ

13:10 特別講演

「株式市場の活性化に向けた東証の取組」

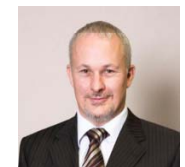


深山浩永氏 Hironaga Miyama
東京証券取引所
常務取締役

1978年 東京証券取引所入所、2001年 株式会社東京証券取引所 派生商品部長、2004年 経営企画部長、2005年 執行役員、2011年より現職。

13:40 パネル②プライベート・エクイティ投資運用戦略

「PE投資とガバナンス」



マシュー・アーキンストール氏
Matthew Arkinstall
インベストメント・ディレクター
グリーンパーク・キャピタル

マシュー・アーキンストールはグリーンパーク・キャピタルのインベストメント・ディレクター。それ以前はインフラ直接投資を経てプライベート・エクイティ投資に18年間従事。そのうち10年をMLC(現:ナショナルオーストラリア銀行の資産運用部門)で世界中のプライベート・エクイティ・ファンドへ投資する数十億ドルのポートフォリオ構築を指揮する。オーストラリア・シドニー大学応用数学科をファーストクラスで卒業。オーストラリア・アクチュアリー会会員。



ティム・クルッテンデン氏
Tim Cruttenden, CEO,
ヴェンキャップ・インターナショナルplc

ティムはヴェンキャップの戦略と事業成長の責任者で、17年間に亘ってPEファンド投資に携わり、ファンド投資チームのリーダーとしてデューデリジェンス、モニタリング、報告全てに関わっている。また、米国・ヨーロッパの多くの主要なVCファンドと密接な関係を構築し、ヴェンキャップが投資している多くのファンドのアドバイザー・ボードメンバーである。さらに米国・ヨーロッパ・アジアで新たに設立されたファンドと親密な関係を作り、投資見込み先ファンドとしての関係構築の責任者でもある。ヴェンキャップ入社以前、ティムはロンドン所在の英国保険協会の統計担当とエコノミストを務めた。コベントリー大学で経済学・統計学を専攻、Society of Investment Professionalsアソシエイト。

アストリア オルタナティブ投資戦略フォーラム-2012



竹内 丈二氏 (司会) Joji Takeuchi
ブライトラストPEジャパン株式会社
代表

1983年に海外経済協力基金(現国際協力機構)に入社し開発援助に携わる。その後大手米銀を経て、1991年、ジェネラル・リ・ファイナンシャル・プロダクツ東京支店を立ち上げる。1995年に東京支店長、1996年より香港支店長兼務、グローバル・トレーディング共同責任者、グローバル経営委員会メンバー。2003年より株式会社許斐にてPE、HF業務ならびにM&Aアドバイザー業務に従事。2007年3月、ブライトラストPEジャパン(株)を設立し代表取締役就任。金融商品知識、長年にわたる市場リスク・マネジメント経験、海外ファンド・投資家とのネットワーク、国内およびクロスボーダーM&A実施経験に照らしてPEファンドを分析。東京大学卒(国際関係論)、シドニー大学院政治学部修士。

14:30 パネル③ 国内株投資ヘッジ運用戦略 「フレンドリー・アクティビスト投資とガバナンス」



白木信一郎氏 Shinichiro Shiraki
AIMA Japan 副会長
マネックス・オルタナティブ・インベストメンツ(株)
代表取締役社長 兼 CIO

三菱東京UFJ銀行(旧三和銀行)入社後、投資運用業に従事。1995年以降、ヘッジファンド、プライベートエクイティの調査、投資を継続して行い、2005年にMAIを設立。以後、数々の公募、私募のファンド・オブ・ファンズを組成、運用する。また、MAIでは日本の商品投資顧問業を取得し、日本版CTAの運用も行う。慶應義塾大学経済学部卒。ロンドン・ビジネス・スクール金融修士(MiF)公益社団法人日本証券アナリスト協会検定会員(CMA)。著書に『投資ファンドのすべて』(2006年 金融財政事情研究会)



中神康謙氏 Yasunori Nakagami
あすかコーポレートアドバイザー
代表取締役

大学卒業直後から、経営コンサルティング業界に入る。アンダーセンコンサルティング(現アクセンチュア)、コーポレートディレクションのパートナーとして、約20年にわたり幅広い業種で経営者と協業し、数多くの企業価値上昇事例を体験。『経営者応援ファンド』の有効性を確信し、2005年にあすかコーポレートアドバイザー株式会社を設立、『あすかバリューアップファンド』をスタートさせた。同ファンドは、世界最大級のヘッジファンド調査会社Eurekahedgeから、“Asian Best Event Driven Fund Award 2011”を受賞している。慶應義塾大学経済学部卒。カリフォルニア大学バークレー校経営学修士(MBA)。



堀江貞之氏 (司会) Sadayuki Horie
野村総合研究所
金融ITイノベーション研究部 上席研究員
大阪経済大学大学院
非常勤講師、AIMA-Japan調査委員長

1981年、野村総合研究所に入社し債券のクオンツアナリストとして働き始める。1986年、現在業界標準となっている「NRI債券パフォーマンス指数」(後、NOMURA-BPIと改称)を開発。1986~88年、ニューヨーク事務所勤務、オプション・モデル/ターム・ストラクチャー・モデルを開発。1996~2001年、野村アセットマネジメントでGTAAと通貨オーバーレイファンド、併せて10億ドル以上を運用。2001年NRIに戻り、年金ファンドのコンサルティングや資産運用の先端調査などを手がける。過去30年に亘り、証券アナリストジャーナル、企業年金、年金と経済、ファンドマネジメント、資本市場、年金情報等の専門誌に数多くの論文を発表。

15:20 コーヒーブレイク

15:50 パネル④ 新興市場へのアクセス 「エマージング市場の取り組みについて考える」



トーマス・オルソン氏 Tomas Olsson
パートナー
アジア・パシフィック地区主席駐在員
プロスペリティ・キャピタル・マネジメント

トーマス・オルソンは、プロスペリティ・キャピタル・マネジメント(PCM)の投資家リレーションズ及び企業関連業務の責任者です。2003年のPCM入社以前はABBエクイティ・ベンチャーズのバイス・プレジデントを務め、ロシアを含む新興市場での直接投資関連業務に携わっていました。また、アジア開発銀行にて直接投資及びプロジェクト・ファイナンスの責任者を歴任すると共に、SEB及び日本債券信用銀行にて北欧と日本の資本市場における広範囲の経験を積みました。ストックホルム商科大学で金融経済学の修士号、及びマギル大学でMBAを取得しました。



マシュー・ヴァーマーチ氏
Matthieu Vermersch
シニアマネジングディレクター
エベレストキャピタル

専務取締役、リサーチ部長および執行・投資委員会のメンバーを務める。24年間に亘るアジア市場に的を絞ったインベストメント・マネジメント、国際銀行業務経験を持つ。1998年、エヴェレスト・キャピタル入社。それ以前は、パリバ銀行香港でアジアにおける株、ハイ・イールド商品の自己勘定裁定取引グループを率い、ニューヨークではグローバルな株、ハイ・イールド商品の自己勘定裁定取引グループで活躍。又、台湾、香港、パリを拠点にパリバ銀行のインターナショナル・バンキング部門を歴任。フランス・パリ政治学院卒、パリードフィン大学よりコーポレート・ファイナンス修士号取得。中国語およびフランス語に堪能。



キタン・パテル氏
Ketan Patel
CEO and Founder
グレーター・パシフィック・キャピタル

キタン・パテルはグレーター・パシフィック・キャピタル(GPC)の代表者でありかつ創設者として、インドと中国の高成長市場を対象にした投資会社を設立しました。GPCは、それぞれの国や産業界、企業において強力なアイデアと投資テーマをオリジネートする能力において高く認められています。GPC創業の前は、ゴールドマン・サックス(GC)においてマネージングディレクターとして、主要な企業・投資家・政府系顧客層の戦略的相談窓口としてGCの戦略グループを設立・開発の担当にあたりました。前職ではKPMG取締役としてビジネス・トランスフォーメーション戦略コンサルティングとその展開の任にありました。



清水時彦氏 (司会) Tokihiko Shimizu
年金積立金管理運用独立行政法人
調査室長 年金数理人

1987年厚生省入省後、厚生年金基金連合会数理課長、厚生省年金局企業年金課基金数理室室長補佐等を経て、2008年から現職。2007年から早稲田大学理工学術院基幹理工学研究科非常勤講師を務める。1987年上智大学卒業。主な著書・論文：総解説企業年金(日本経済新聞社)、どうなる日本の年金問題(ブリタニカ国際年鑑2005年)、Overview of the Corporate Pension Scheme in Japan(Private Pensions Systems Administrative Costs and Reforms OECD2001)、「年金積立金運用の基本的な考え方と基本ポートフォリオ」「年金と経済」Vol. 28, No. 1

17:10 パネル⑤ 機関投資家パネル 「オルタナティブ投資戦略の展望」



増田 徹氏 Toru Masuda
住友信託銀行 投資金融部
投資金融開発部
プライベートエクイティ投資チーム チーム長

1988年大阪大学経済学部卒業、住友信託銀行(株)に入行。神田支店にて不動産関連個人業務の担当の後、1990年海外事務部で国債関連業務事務処理を担当。1992年ロンドン支店へ移動、M&A業務のトレーニーとしてM&A業務を担当。1993年企業情報部へ異動、M&A業務並びにマルチメディア系ベンチャー企業への投融資を含めた企業情報関連業務を担当。1996年ロンドン支店に異動、日系企業融資・日系証券投資並びにエマージング市場向け投資を担当の後、2000年から現職の投資業務部に異動。プライベートエクイティ投資を担当。現在プライベート・エクイティ投資を専担のプライベート・エクイティ チーム長。



大西かおる氏 Kaoru Onishi
ニッセイアセットマネジメント株式会社
ファンド投資室
チーフ・ポートフォリオ・マネジャー

1996年に日本生命保険相互会社に入社。2003年から同社のニューヨーク現地法人にて日本生命グループのプライベートエクイティ投資プログラムの立上げに従事。その後、日本生命の運用部門にてオルタナティブ投資へのアロケーション策定担当などを経て、現在は、ニッセイアセットマネジメントにて、日本を含むアジアのプライベートエクイティファンドへの投資を担当。横浜国立大学経済学部卒。証券アナリスト協会検定会員。



高田創一氏 Soichi Sam Takata
東京海上アセットマネジメント投信株式会社
プライベートエクイティ運用部 部長

1991年 東京海上火災保険株式会社入社、国際投資部にてユーロ円債・海外融資担当
1992-95年 国際投資部にて海外投資企画、外部委託マネージャー選定・管理に従事。1995-97年 日本輸出入銀行(当時)に出向しプロジェクトファイナンスに従事。1997-98年 投資部運用開発グループにてオルタナティブ投資担当。1998-01年 東京海上キャピタルにて国内パイアウト・ベ

ンチャー投資担当、欧米のPEファンドにて実務経験あり。2001-02年 金融開発部にてオルタナティブ投資担当。2002年12月 東京海上アセットマネジメント投信株式会社にてPEファンド投資に従事。ハーバード大学経済学部卒業。



小此木 統呉氏 Togo Okonogi
損保ジャパン日本興亜
アセットマネジメント株式会社
保険運用第二部 オルタナ運用グループ
シニア・インベストメント・マネージャー

1984年 慶応義塾大学 法学部卒業。同年日本火災海上入社、営業部門を経て1990年に日本輸出入銀行(現国際協力銀行)に出向し海外投資研究所に所属。1992年~2000年 日本火災、運用部門にて海外ソブリン向けローン、アセットアロケーションなどに携わり、2000年より確定拠出年金・投信販売の新規事業の立ち上げを行う。2005年よりPE投資業務に従事し、現在PE、ヘッジファンド、債券ファンド、株式ファンドをカバーしている。



吉田琢磨氏(司会) Takuma Yoshida
セイリュウ・アセットマネジメント株式会社
代表取締役社長

旧三井銀行(現三井住友銀行)において、主に外国為替のトレーディング業務に従事。旧バンカーズ・トラスト(現ドイツ銀行グループ)において、オルタナティブ投資を中心に資産運用業務に従事。その後、ドイツ銀行グループにおけるヘッジファンド運用部門であるDB Absolute Return Strategiesの日本代表として日本、及びアジアにおける業務を推進。シティグループにおいて、日本におけるオルタナティブ投資商品の販売統括責任者就任。その後、同グループのオルタナティブ運用専門の運用会社、シティグループ・グローバル・インベストメンツの代表取締役社長を務める。米国 コーネル・カレッジ卒

18:00 懇親会

19:00 招待制の会食

協賛スピーチ グロービスキャピタルパートナーズ



仮屋 蘭聡一氏 Soichi Kariyazono
グロービス・キャピタル・パートナーズ
パートナー

株式会社三和総合研究所でコンサルティング業務に従事した後、1996年より株式会社グロービスへ参画し、ベンチャーキャピタル事業を設立。欧米最大手のPEファームであるエイパックス・パートナーズとのジョイントベンチャーを経て、現在に至る。インターネットメディア・コンテンツ、イーコマース、およびエンタープライズアプリケーション関連の投資を担当。慶応義塾大学法学部卒、米国ピッツバーグ大学経営大学院修士課程修了(MBA)。著書として、「ケースで学ぶ起業戦略」(日経BP社)、「MBAビジネスプラン」(ダイヤモンド社)、「ベンチャーキャピタリストが語る起業家への提言」(税務研究会)がある

オーストリア オルタナティブ投資戦略フォーラム-2012

ファンドマネジャーインタビュー (3階会場) Fund Manager Interviews

注:参加者は機関投資家に限定、複数セッション参加可 (当日参加希望者は受付まで)

11:15 プロスペリティ・キャピタル (司会: 大田氏)	45分間 306会場	15:20 コーヒングブレイク	30分間 201会場
エベレスト・キャピタル (司会: 竹内氏)	307会場	16:00 ミューズニッチ・アンド・カンパニー (司会: 竹内氏)	45分間 306会場
12:10 ネットワーキングランチ	1時間 201会場	DCI (司会: 吉田氏)	301会場
13:25 DCI (司会: 吉田氏)	45分間 306会場	16:45 コーヒングブレイク	30分間 201会場
エベレスト・キャピタル (司会: 大西氏)	311会場	17:15 グレーター・パシフィック・キャピタル (司会: 大田氏)	45分間 306会場*
14:10 ショートブレイク	15分間 201会場	プロスペリティ・キャピタル (司会: 竹内氏)	301会場*
14:25 ミューズニッチ・アンド・カンパニー (司会: 大田氏)	45分間 306会場	18:00 懇親会	201会場
グレーター・パシフィック・キャピタル (司会: 大西氏)	311会場		

* 2012/1/17 修正

司会者の紹介



竹内 丈二氏 Joji Takeuchi
ブライトラストPEジャパン株式会社
代表

(竹内氏のご略歴はP3記載の略歴情報をご覧ください)



大田 直樹氏 Naoki Ohta
グリーンパーク・キャピタル
アソシエイト・インベストメント・ディレクター

大田直樹はグリーンパーク・キャピタルのアソシエイト・インベストメント・ディレクター。2005年グリーンパーク・キャピタルに参画。以降、数多くのプライベート・エクイティのセカンダリー案件の投資に携わる。それ以前はKPMGコーポレートファイナンスに勤務、多岐に亘る資産評価業務を専門とする。イングランド・ウェールズ勅許会計士協会勅許会計士。英国ダラム大学卒業。



大西かおる氏 Kaoru Onishi
ニッセイアセットマネジメント株式会社
ファンド投資室
チーフ・ポートフォリオ・マネジャー

(大西氏のご略歴はP4記載の略歴情報をご覧ください)



吉田 琢磨氏 Takuma Yoshida
セイリュウ・アセットマネジメント株式会社
代表取締役社長

(吉田氏のご略歴はP4記載の略歴情報をご覧ください。)

アストリア オルタナティブ投資戦略フォーラム-2012

協賛企業のご紹介 About Our Sponsors

プレミアム協賛



ディーシーアイ(www.dci.com)

DCIはコーポレート・クレジット投資を専門とする独立系投資顧問会社です。当社はファイナンスの分野において多くの革新的な足跡を残してきたメンバーによって2004年に創業されました。その業績として世界初の株式インデックス・ファンド(ウェルズ・ファargo)の組成やデフォルト確率及びクレジット・ポートフォリオモデルの構築が挙げられます(KMV)。現在は本社をサンフランシスコに置き、ロング・オンリー、エンハンスト・ロング、マーケット・ニュートラルのクレジット戦略で総額36億ドルを運用しています。

DCI

DCI is an independent asset management firm specializing in corporate credit strategies. The firm was founded in 2004 by individuals with a long history of innovation in finance. Their achievements include the creation of the first equity index fund (Wells Fargo), as well as the first default probability and credit portfolio model (KMV). The firm is based in San Francisco and manages \$3.6B in long-only, enhanced long, and market-neutral credit products.

ミューズニッチ&カンパニー: (www.muzinich.com)

1988年創業、ニューヨーク、ロンドン、ケルン、パリに拠点をもち独立系クレジット投資会社。2011年末預かり資産額140億ドル。ファンダメンタルクレジット分析をベースに社債及びバンクローンに投資。業務の中心は欧米コーポレートクレジットへのロングオンリー投資。高格付け及びハイイールドクレジットを対象投資とし、過去20年以上にわたリリスク修正後ベースで安定した成績を上げてきている。顧客投資家は、欧米生命保険会社、銀行、年金、政府系機関、大手ファミリーオフィスなどで、投資家の投資資金保持を第一にした運用哲学のもとに長期的観点からの投資を行う。ショートディレクションハイイールドファンドなど短期クレジット投資でも実績があり、2011年末で50億ドル以上を運用、同分野業界最大手の一つ。

Muzinich & Co.

Muzinich & Co., Inc.

Muzinich & Co. is a global institutional asset manager specializing in corporate credit and credit-oriented strategies. It has a 20 year track record of strong, risk-adjusted returns without style drift. The firm's expertise in fundamental credit research has been the foundation for its growth and it now manages approximately \$14 billion in corporate credit. Investors include insurance companies, banks, pension funds, government agencies, institutionally sized families, and other clients with a long-term perspective on preserving and building wealth. Based in New York and London, Muzinich also has client service offices in Cologne and Paris.

共同協賛

エベレストキャピタル (www.everestcapital.com)

1990年、マルコ・ディミトリヴィッチにより創設される。グローバルなエマージング・マーケット、アジアおよびフロンティア・マーケットへの投資を専門とする独立系投資顧問会社。世界的な大企業や公的年金基金、大学基金、チャリティー財団や富裕層のファミリー・オフィスなどを顧客として持つ。エベレスト・キャピタルLLCはマイアミを拠点とし、米国証券取引委員会に投資顧問として登録されている。又、グループ会社がシンガポール、上海、ジュネーブに展開、業務を行っている。

EVEREST CAPITAL

Everest Capital LLC

Founded in 1990 by Marko Dimitrijević, Everest Capital is an independent investment management firm dedicated to global, emerging markets, Asian and frontier markets investing. Our clients include some of the world's leading corporate and public pension funds, university endowments, charitable foundations and family offices. Everest Capital LLC is based in Miami and is a Registered Investment Adviser with the U.S. Securities and Exchange Commission. In addition, the Everest Capital group of companies operates out of Singapore, Shanghai and Geneva

グロービス・キャピタル・パートナーズ(www.globiscapital.co.jp) は日本における独立系最大手のベンチャーキャピタルとして、1996年よりこれまでに3つのファンドを擁し、累計約385億円を運用してきました。投資家は、海外の年金基金やファンドオブファンズが中心で、グローバルスタンダードに準拠したマネジメントスタイルが特徴です。投資スタイルは、価値提供型に特化し、役員派遣・組織開発・戦略構築など、投資先経営陣と共に企業価値の向上に取り組みます。ユニークな経験と深い業界知識、独自の業界ネットワークを持つプロフェッショナルチームは、これまでに日本No.1 グローバル企業へと進化するメガベンチャー企業を、数多く生み出しております。

■ GLOBIS CAPITAL PARTNERS

グレーター・パシフィック・キャピタル
Greater Pacific Capital LLP (www.greaterpacificcapital.com)

GREATER PACIFIC

グレーター・パシフィック・キャピタル(GPC)は、元々ゴールドマン・サックス出身の経験豊かなコアチームの事業スキルを生かし、インドと中国における高成長の投資機会を捉える会社として設立されました。インド・中国に於いて、GPCは投資家及び投資先企業に新たな価値を創造できるような『スペシャル・シチュエーション』を見つけ、作り出すという投資アプローチに於いてその実績が認められている会社です。GPCは投資アプローチのなかでも特に、起業家・経営者の個性や実績、業界の習慣・慣行、投資機会のポジショニング、リスク・価格と投資入口・出口の条件などに焦点を当てます。

Greater Pacific Capital (GPC) is an investment firm designed to capture investing opportunities in the high growth countries of India and China, using the skills of an experienced core team originally from Goldman Sachs. In both its target regions, GPC is distinguished by its approach: the firm finds and creates "special situations" from which it can create new value for its investors and investee companies. GPC's approach focuses on the track record and personality of entrepreneurs, the industrial logic of companies, the positioning in the spectrum of opportunity, and risk and the price and terms of entry and exit.

プロスペリティキャピタル・マネジメント (www.prosperitycapital.com)
Prosperity Capital Management (UK) Limited

プロスペリティ・キャピタル・マネジメント(PCM)はロシア及びCIS諸国投資に特化した最大規模の資産運用会社で、現在の総資産運用高は約35億米ドルです。PCMによる投資は「ロング・オンリー(買いのみ)」で、運用ファンドはレバレッジをかけないオープン型ファンドです。PCMは現在、ロシア、ウクライナ、及び中央アジアの主要企業数社の主要な株主で、運用資産の約30%の企業で取締役役に就任しています。このような「アクティビスト的な」手法による投資は、ロシア投資を成功裏に行う必須条件であると信じています。「ファンダメンタル価値」を追求するPCMの旗艦ファンドであるロシアン・プロスペリティ・ファンドは、1996年9月の設定以来、米ドル建て年率平均22%のリターンを生み出してきました。イベント・ドリブン手法で運用されるプロスペリティ・クwest・ファンドは、1999年12月の設定以来、米ドル建て年率平均38%のリターンを挙げてきました。



Prosperity Capital Management is the largest Russia/CIS focussed asset manager controlling investments worth around USD 3.5 billion. PCM is a 'long-only' investor using open-ended funds with no leverage, and is now a major shareholder in some of the leading companies in Russia, Ukraine and Central Asia. We believe that 'active' investing is a prerequisite of investment success in Russia. Russian Prosperity Fund, PCM's flagship 'fundamental value' vehicle, has generated an average annualised dollar-terms return of 22% since its inception in 1996. The event-driven Prosperity Quest Fund has enjoyed a dollar-terms 38% average annual return since it began in 1999.

ヴェンキャップインターナショナルplc (www.vencap.com)

ヴェンキャップ・インターナショナルplcは米国・ヨーロッパ、中国及びインドにおけるトップ・ティアのベンチャー・キャピタル・ファンドへの投資を行う独立系投資運用会社。1987年の設立以来、ヴェンキャップは投資家に過去25年間に創業された最も影響度の大きい企業の多くに創業間もない段階で投資する機会を提供して来た。

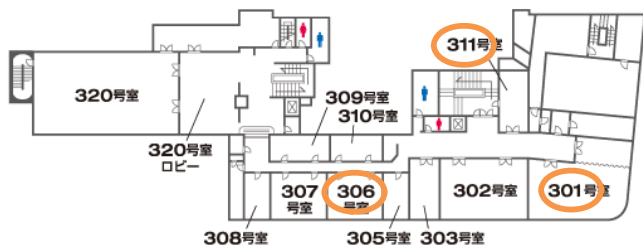
ヴェンキャップが投資したベンチャー・キャピタル・ファンドが育成した代表的な企業には、シスコシステムズ、スターバックス、ヤフー、ペイパル、グーグル、ユーチューブ、リンクドイン、グルーポン、ジンガ、フェイスブックがある。ヴェンキャップの運用資産は総額19億ドルで現在は12号ファンドから投資を行っている。



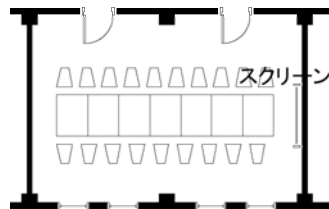
VenCap International plc

VenCap International plc is an independent investment advisory firm focused on investing in top-tier venture capital funds in the US, Europe, China and India. Since its inception in 1987, VenCap has been able to offer investors early exposure to many of the most significant companies that have been formed in the last 25 years. Representative companies from VenCap's underlying venture fund portfolios include Cisco Systems, Starbucks Coffee, Yahoo!, PayPal, Google, YouTube, LinkedIn, Groupon, Zynga and Facebook. VenCap has US\$1.9 billion in funds under management and is currently investing from its twelfth fund.

3階会場フロアプラン (3F)



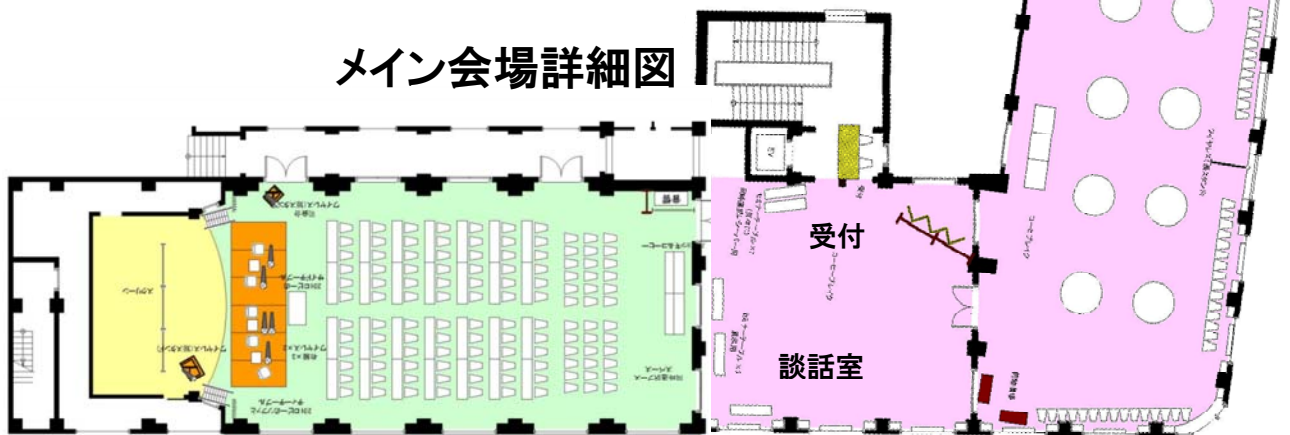
ファンドマネジャー・インタビュー 306会場
Fund Manager Interviews



2階会場フロアプラン (2F)



メイン会場詳細図



オルタナティブ投資戦略フォーラム 202会場
Main Hall

展示会場・談話室
Exhibition Hall

ランチ、ブレイク、懇親会 201会場
Networking Break

主催のご紹介 About the Organizer

アストリアコンサルティングは2001年から、「アストリアPE投資フォーラム」の開催を通じて日本の機関投資家向けの投資啓蒙活動に従事しています。2010年9月には、オル・インと共同開催の日本オルタナティブ投資フォーラムを年金基金向けに組成し、2011年1月には、機関投資家(LP)とPE・VCファンドのマネジャー(GP)など、従来よりも広範囲の参加者と対象者に招いたアストリア オルタナティブ投資戦略フォーラムの開催をいたします。



Astoria Consulting organizes educational conferences for the financial investors and pension investors in Tokyo since 2001. The flagship event is called Astoria Private Equity Investment Forum which was launched in September 2002. Following a successful conclusion of the Japan Alternative Investment Forum (JAIF) which was a joint organization between Astoria and AL-IN publication, Astoria is launching a new conference called Astoria Alternative Investing Strategies Forum in January 2012 to further develop educational and networking opportunities between institutional investors and fund managers in the alternative investing areas.

アストリアコンサルティング(株) コンタクト先: 森本晴久 Email: apef_admin@astoriacg.com
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア EAST 4階
Tel: 03-5219-1438 Fax: 03-6310-0778

FAX:03-6310-0778

オンライン登録は右記より: www.astoriacg.com

申し込み区分と参加費について

申し込み区分 (該当する申し込み区分をお選びください)	参加費
<input type="checkbox"/> 金融機関・機関投資家 (自己勘定投資の機関投資家)	無料招待
<input type="checkbox"/> 年金基金・企業年金	無料招待
<input type="checkbox"/> 信託銀行および年金運用の受託金融機関 <input type="checkbox"/> 投資顧問会社(自らファンド運営をしていない会社) <input type="checkbox"/> コンサルタント、評価機関 <input type="checkbox"/> リテール向け投資信託会社・投信会社、金融機関内の投信企画部門 <input type="checkbox"/> 証券会社またはプレースメント会社などファンドのディストリビューターとして協賛企業と業務上支援関係にある企業	無料招待
上記以外の企業全ては以下の項目からお選びください (もし該当項目が不明な場合は事務局にご確認ください)	
<input type="checkbox"/> 自らファンド運営をしている法人 - ファンドマネジャー、GP、ファンド・オブ・ファンズ(FOF)など <input type="checkbox"/> サービスプロバイダー <input type="checkbox"/> 証券会社またはプレースメント会社などファンドのディストリビューター(協賛企業とは関係のない会社)	80,000円/人 (含 懇親会参加)
<input type="checkbox"/> 後援組織会員 AIMA-Japan, HFC, JVCA & JPEA (上記の参加費から30%割引対象となります)	56,000円/人 (含 懇親会参加)
<input type="checkbox"/> 自らファンド運営をしている法人 - ファンドマネジャー、GP、ファンド・オブ・ファンズ(FOF)など <input type="checkbox"/> サービスプロバイダー <input type="checkbox"/> 証券会社またはプレースメント会社などファンドのディストリビューター	10,000円/人 (懇親会参加のみ)

マネジャー・インタビュー 参加セッションのご確認 (参加者は機関投資家に限定、複数セッション選択可)

グループセッション「マネジャー・インタビュー」への参加希望者は、下記からマネジャー名と希望時間帯をお選び下さい。

社名	投資分野	グループセッション時間帯	
● ミューズニッチ	(クレジット/ハイイールド投資)	<input type="checkbox"/> 14:25	<input type="checkbox"/> 16:00
● DCI	(高格付けクレジット投資)	<input type="checkbox"/> 13:25	<input type="checkbox"/> 16:00
● プロスペリティ・キャピタル	(ロシア上場株投資)	<input type="checkbox"/> 11:15	<input type="checkbox"/> 17:15
● エベレスト・キャピタル	(エマージング市場上場株投資)	<input type="checkbox"/> 11:15	<input type="checkbox"/> 13:25
● グレーター・パシフィック・キャピタル	(インド・中国 上場株、未上場株投資)	<input type="checkbox"/> 14:25	<input type="checkbox"/> 17:15

申込者情報 (名刺の拡大コピーを下記に添付可)

◆金融商品取引法のコンプライアンス徹底にご協力下さい。 下記に該当する箇所どちらか一つにチェック(✓印)してください。

- 参加者は、金融商品取引法下で特定投資家(適格投資家など)に該当する。
 参加者は、金融商品取引法下で適格投資家には該当しない。 下記「免責事項」に同意して本イベントに申し込みます。

◆個人情報の共有ポリシーについてチェック(✓印)にてご確認下さい。

- 今回のカンファレンスに参加登録頂いた方々の個人情報は、前頁「個人情報の取り扱い」に従って、マネジャー・インタビュー参加協賛企業にも情報共有されることに同意します。

◆申込者名(必須): _____ ◆ふりがな(必須): _____

◆電子メール(必須): _____@_____

◆企業名(必須): _____ ◆部署・役職: _____

◆企業名英語表記(必須): _____

◆所在地: _____ ◆郵便番号: _____

◆電話番号(必須): _____ ◆ファックス: _____

申込〆切: 2012年1月18日(水) 席数に限りがございますのでぜひお早めにお申し込み下さい。

お申し込みは 事務局まで 本申込書を ファックス (FAX:03-6310-0778) または電子メール (Email: apef_admin@astoriacg.com) 添付にてお送り下さい。
 参加票は、開催日の1週間前を目途にお送りします。有料参加の場合は請求書を、1週間以内に電子メールにてお送りしますので、請求書記載の方法にて期日までにお振り込み下さい。なお、参加費の払い戻しはいたしませんので、申し込まれた方がご都合の悪い場合は代理出席をお願いします。*ご記入内容および個人情報については、本件の連絡業務・登録業務のみに利用し、第三者に提示、提供することは一切ございません。